

令和2年度各会計の決算規模

歳出	決算額	前年度との比較		
		増減	伸び率	
一般会計	370億6,458万円	77億6,562万円	26.5%	
特別会計	国民健康保険事業	82億3,121万円	△5億3,173万円	△6.1%
	深谷中央特定土地区画整理事業	2億2,276万円	△468万円	△2.1%
	介護保険事業	55億6,612万円	3億155万円	5.7%
	後期高齢者医療事業	11億8,114万円	9,948万円	9.2%
	小計	152億123万円	△1億3,538万円	△0.9%
合計	522億6,581万円	76億3,024万円	17.1%	

公営企業会計	決算額	前年度との比較		
		増減	伸び率	
公共下水道事業	収益的収入	30億6,138万円	30億6,138万円	皆増
	収益的支出	24億3,852万円	24億3,852万円	皆増
	資本的収入	4億7,068万円	4億7,068万円	皆増
	資本的支出	18億5,664万円	18億5,664万円	皆増

表中の△はマイナスを表しています。公共下水道事業は、地方公営企業法を適用した初年度であるため、皆増となります。

●市長は、施政方針で「厚木基地の返還を前提に、地域資源として活用できないか検討する。」と述べた。基地返還を求める運動が弱まれば、軍事基地として基地機能は強化されると考える。市民の生命と財産、生活を守るため、今までの以上に国への反対の意思表示を望む。あやせっ子日米交流事業も、国際的視野を持った青少年の育成が必要であれば、基地との連携ではなく、費用がかかっても姉妹都市を検討すべきである。法人市民税は、減益と税率の引き下げで減った。令和元年10月から消費税が引き上げられたが、低所得者は負担が重く、富裕層は軽いという逆進性がある。貧困の格差は拡大しており、不公平な税制を改めるよう、国に要望することを望む。教育現場への第5世代移動通信システム(5G)利用環境の構築は、人体に悪影響を及ぼす電磁波をさらに浴びると危惧する。科学的、医学的に安全と立証できるまで進めるべきではない。土地開発公社による用地の先行取得は、近年、地価が下落し、メリットがなくなっているため、公社解散の検討を求める。外国人技能実習生の受け入れが開始されたが、現地視察の予算が組まれていた。受け入れ支援の役割を終えた行政が、これ以上関わるべきではないことを指摘し、2年度決算に反対する。



マンホールトイレ機能付きの防災トイレが完成し、10月27日に供用開始されました<市民文化センター第1駐車場にて>

市政に対する一般質問



高齢者への移動や買い物物の支援を市内全域に広がっては

公明党 井上 賢二

高齢者福祉の支援について

一部地域で行っている移動や買い物物の支援を、市内全域に広がっていく考えは。

移動支援などが全市民的な広がりとなるよう、引き続き住民参加型移動支援の周知や普及啓発に取り組むたい。

高齢者を対象としたスマートフォン講習会が全国で始まるが、本市の現状は。

企業と連携し、令和3

年11月と4年2月に開催する予定である。初心者を対象に公共施設3カ所で行いたい。

小学校の環境整備について

水泳授業では、校外屋内プールの利用により、教員の負担が軽減されると考え

が、高座清掃施設組合の屋内温水プールを活用しないか。

同施設のみでの実施は難しい。市内と近隣市の民間施設を含め、複数施設での利

用を検討する必要がある。

体育館への空調設備の設置に向けた取り組みは。

設置に伴う維持費の増加などを鑑み、最適な空調方式の検討が必要である。快適な学習環境確保や非常時の対応を視野に入れ、検討する。

校舎内などにある自動体外式除細動器(AED)は、いつでも使用できる体制が求められているが、屋外移設は。

土・日曜日、祝日や夜間でも使用できることが望ましいと考えており、学校長、AED所管課と協議していく。

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。9月定例会では、9月21日・22日の本会議で14人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、6ページまで続きます)。



アフターコロナを見据えたまちづくりを進めないか

あやせ未来会議 安藤多恵子

コロナとともに生きるまちづくりについて

コロナ禍の収束はいまだめどが立たず、新たな変異株の影響もあり、大きな不安や被害を引き起こしている。

当初、ここまでの被害は想定されていなかったが、今後の自治体経営の方向性を改めて検証する必要があるか。

社会経済活動の変化に柔軟に対応し、デジタル化を

軸に行政サービスなどを変革する必要があると考える。

職員の働き方にも変化があり、自宅で仕事をしたりリモートワークが増えているが、環境の整備は。また、行政サービスデジタル化への進捗状況と、今後の具体策は。

セキュリティを確保した上で、一般のインターネット回線を使用するため、環境は整っている。また、市民

多くの事業や催し物の中止が相次いでいる。今後、何でも中止にするのではなく、実施する方向で進めていく工夫が必要と思うが、どうか。

単に中止するのではなく、創意工夫を図り、実行委員会などと協力し、代替事業を実施した事例もある。事業の実施に向け、工夫することは重要と認識している。

詳しい内容は会議録・HPで

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。なお、9月定例会の会議録は、11月下旬に閲覧できる予定です。

綾瀬市議会 検索